

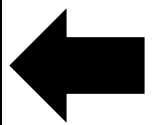
(1) 愛知県 愛日地区小学校の教育課程 (カリキュラム) 上の交通安全指導内容について

- 「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている**教育課程 (カリキュラム) の基準**です。およそ 10 年に 1 度、改訂されている。子供たちの教科書はこれを基に作られ、時間割は、この学習指導要領を基に、各学校や地域でさらに詳細な教育課程が編成され、その上で決定される。因みに、「学習指導要領」が基でも、各学校や地区により教育課程の編成内容には、若干の差異がある。
- 下の例示の「**教育課程**」とは、**各学校が実施する予定の教育内容を記したカリキュラム**である。  
文部科学省が定めた 1 の「学習指導要領」の改訂に合わせて、各校のカリキュラムが各学校または地域の実情に合わせて構成される。カリキュラムなので、**実際の教育予定内容**。  
小学校では、新学習指導要領 (平成 29・30 改訂) に基づく教育が、移行期間を経て、令和 2 年度より開始。  
ここでは、愛知県の愛日地区 (11 市町) ※ 1 の最新版 (R2) の教育課程からその内容を例として取り上げる。
- 教育課程の中で、「**交通安全**」に関する**教育内容**として主だった記載があるのは以下のとおり。  
**教科では、「体育科」5 年生の保健「けがの防止」(5~6 時間完了)、そして、特別の教科「道徳」の「規則の尊重」・「節度・節制」、最後に、教科外の「特別活動」※ 2 の、「ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」の「A 身の回りの安全・防災」・「B 交通安全」の 3 領域である。特に交通安全内容の記載が多い「特別活動」を取り上げる。「特別活動」は、1~6 年生まで、年間に約 3 5 時間の標準授業時数が割り当てられている。**  
※ 1 愛日地区は名古屋市の北部・東部に位置する 11 市町からなり、尾張旭市・春日井市・北名古屋市・清須市・小牧市・瀬戸市・東郷町・豊明市・豊山町・長久手市・日進市のこと。  
※ 2 「特別活動」は教科外の学校教育活動。「学級活動」・「児童会活動」・「クラブ活動」・「学校行事」からなる。

(2) 令和 2 年版 愛日地区「教育課程」の「特別活動」より ※以下 教育課程より抜粋

① 「学級活動」の 主題一覧

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画		
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	イ 学級内の組織づくりと役割の自覚	ウ 学校における多様な集団の生活の向上
1 学級の目標をつくろう 2 学級会でしたいこと 3 学級の問題を話し合おう 4 お楽しみ会をしよう 5 楽しい遠足にしよう 6 修学旅行 (野外活動) を成功させよう (6 (5) 年)	1 学級の係を決めよう 2 係活動を見直そう	1 異年齢集団を組織しよう 2 通学団の意義や自分の役割を考えよう
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全		
ア 基本的な生活習慣の形成	イ よりよい人間関係の形成	エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
1 学校のきまり 2 状況に応じた行動 3 整理・整頓 4 きれいな学校 5 夏休みのくらし 6 冬休みのくらし	1 言葉づかいを見直そう 2 いじめや差別をなくそう 3 友達のよいところを見つけよう 4 互いの違いを認め、協力しよう	1 楽しい給食 2 給食の準備や後片付け 3 健康によい食事 (1~4 年) 4 望ましい食習慣 (5・6 年) 5 感謝の気持ち
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成		
A 身の回りの安全・防災		B 交通安全
1 放課時の安全 2 運動や遊びの安全 3 作業時の安全 4 廊下の歩き方 5 雨の日の過ごし方	6 不審者から身を守る 7 災害から身を守る 8 事故発生時の処置	9 道路での遊び 10 交通ルールを守ろう 11 自転車の乗り方 12 乗り物に乗るとき降りるとき 13 踏切をわたるとき 14 道を横切るとき 15 信号の見方 16 安全のきまり 17 雨の日の歩行



C その他（安全面）	D 心身の発育・発達	E 心身の健康を高める生活	
18 長期休業中の安全	21 歯・口腔の健康	23 規則正しい生活	25 運動と健康
19 冬季の生活の安全	22 性に関する指導	24 正しい姿勢	26 健康生活の反省
20 インターネットの安全利用			
F 健康と環境のかかわり	G 病気の予防	H 心の健康	I その他（健康面）
27 梅雨時の健康	31 健康診断の受け方	35 心の健康に関する指導	36 水泳時の健康
28 夏の健康生活	32 健康診断の結果		37 たばこ
29 冬の病気と生活	33 けがの手当て		38 酒
30 環境と健康	34 目の健康		39 薬物乱用
			40 ゲーム・携帯電話依存症

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成	イ 社会参画意識の醸成と働くことの意義の理解	ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
1 新しい学年を迎えて（学校生活－1年）	1 学級の当番を決めよう	1 学校図書館めぐり（1年）
2 学期の終わりに	2 当番活動を見直そう	2 学校図書館の利用の仕方
3 学期の始めに	3 学校のためにできることを考えよう（1・2・3年）	3 公立図書館のはたらき（3・4年）
4 進級の心構え	4 ボランティア活動について考えよう（4・5・6年）	4 楽しい読書活動
5 1年を振り返って		5 文集を作ろう（4・5・6年）
6 将来の夢		6 いろいろな情報の利用の仕方
		7 自ら学ぶ態度
		8 自分にあった勉強法

② 「ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成」の項目の各首題具体的内容（一部を抜粋）

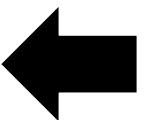
「A 身の回りの安全・防災」より

主 題 名	ね ら い と 内 容	
A-4 廊下の歩き方	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 校内歩行のきまりを理解し、静かに歩く習慣を身に付けることができる</li> <li>○ 校内での危険な場所や決められた歩行の仕方を理解する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まがり角・階段・昇降口・出入口などの危険についての話を聞く</li> <li>・ 右側通行、走らないなどのきまりについての話を聞く</li> </ul> </li> <li>○ 教室や廊下などの正しい歩き方について練習したり、話し合ったりする <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団や個々で歩いたり、互いに観察し合ったりして、話し合う</li> </ul> </li> </ul> <p>留 身近な事故例を参考に指導する</p> <p>留 常時、随時の指導で習慣化できるよう指導する</p>
A-8 事故発生時の処置	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 簡単な救急処置や通報の仕方を理解し、事故発生時の処置の仕方を身に付けることができる</li> <li>○ 簡単な救急処置や通報の仕方について考え、話し合う <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急処置の仕方についての話を聞く</li> <li>・ 校内や校外での通報の仕方について考え、話し合う</li> </ul> </li> </ul> <p>関 保健体育や、消防署や救急隊についての学習と関連して指導してもよい</p> <p>留 心肺蘇生、AEDの活用について指導してもよい</p>

「B 交通安全」より

B-9 道路での遊び	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 道路での遊びは危険が多いことを知り、安全な場所で遊ぶことの大切さを理解することができる</li> <li>○ 帰宅後・休日の遊びの中でのいろいろな危険について話し合う <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな場所で、どんな遊びをしていて、どんな危険な目に遭ったか話し合う</li> <li>・ 道路での遊びの危険について話し合う</li> </ul> </li> </ul> <p>準 絵・写真・ビデオなど</p> <p>留 キックボード、スケートボード、ジェイボード、ローラーブレードなどの遊び方についても指導する</p>
---------------	-------------	---

B-10 交通ルールを守ろう	1	◎ 交通ルールを知り、交通安全に気を付けて行動することができる ○ 身の回りにある安全のための施設について話し合う ・ 歩道橋・歩道・路側帯・スクールゾーンなどについて話し合う ・ 道路標識の絵を見ながら、それらがどこにあるか話し合い、標識の意味を理解し、きちんと守ることが大切であることを知る
	2	○ 小学生の交通事故の原因には飛び出しが多いことを知り、気を付けることについて話し合う ・ 交差点では一度止まって左右を確認する動作を練習する 関 生活科の校区探検や遠足・社会見学など校外学習と関連させて指導してもよい
	3 4	◎ 自動車のもつ特性を理解し、自動車の近くでは常に注意して、自分の身の守るための行動をとることができる ○ 絵・写真・ビデオなどを見ながら、自動車の構造について話し合う ・ ウィンカーの合図・内輪差・死角について話し合う ・ 自動車は急に止まれないことについて話し合う ○ 自動車が近づいてきたら、自分の身を守るために距離をとることを知る 関 遠足・社会見学など校外学習と関連させて指導してもよい
5 6	◎ 歩行者の安全を守るためのいろいろな交通規則について知り、場所にふさわしい安全な歩行を身に付けることができる ○ 交通規則や、安全な歩行・横断のための地域にある安全施設や標識について話し合う ・ 実際の交通規制や安全施設を撮影した写真などを見ながら、話し合う ○ 歩行者が気を付けるべき交通ルールについて話し合う ・ 歩きスマートフォンなどの「ながら」行動の危険性について話し合う 準 絵・写真・ビデオなど 留 車は止まっても危険であることを理解させるように指導する 関 遠足・社会見学・野外活動・修学旅行など校外学習等と関連させて指導してもよい 関 学校行事などの「安全教室」と関連させて指導してもよい	
	1	◎ 自転車の安全な乗り方や注意することについて理解することができる ○ 自転車の安全な乗り方や注意することについて考え、話し合う
	2	・ 体に合った自転車に乗るようにする ・ 乗る前に家の人に点検をしてもらうようにする ・ <b>ヘルメットをかぶり、安全な服装で、必ず左はしを走るようにする</b>
3 4	◎ 自転車の安全な乗り方や注意することについて理解することができる ○ 自転車の安全な乗り方や注意することについて考え、話し合う ・ <b>ヘルメットをかぶり、安全な服装に心がける</b> ・ 危険な乗り方（二人乗り・手放し運転・ながら運転）について話し合う ・ 安全点検の仕方について理解する ・ 自転車専用の道路がある場合は、そちらを走行することを理解する	
	5	◎ 自転車の安全な乗り方や注意することについて理解することができる ○ 自転車の安全な乗り方や注意することについて考え、話し合う ・ <b>ヘルメットをかぶり、安全な服装に心がける</b> ・ 自動車の内輪差と死角について考え、話し合う ・ 危険な乗り方（スマートフォンを見たり音楽を聴いたりする「ながら運転」）について話し合う
	6	・ 自転車に乗っている人が加害者になる事例を知り、加害者にならないために注意することを話し合う 関 学校行事などの「安全教室」と関連させて指導してもよい
B-12 乗り物に乗るとき降りるとき (バス・電車の乗り方)	全 学 年	◎ 乗り物を利用するときのさまざまな危険を理解し、安全に心がけることができる ○ バスや電車の利用の仕方について話し合う ・ 乗り方・降り方・車内での過ごし方、窓から手や顔を出さないこと、窓の外へ物を投げないことなどについて話し合う 関 遠足・社会見学などの校外学習と関連させて指導してもよい 留 家庭との連絡や協力のもとに徹底できるよう指導する
B-13		◎ 踏切では必ず止まり、安全を確かめて渡る習慣を身に付けることができる



踏切をわたるとき	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 踏切の安全な渡り方について考え、話し合う</li> <li>・ 遮断機のある踏切やない踏切・警報機のある踏切について考え、話し合う</li> <li>・ 踏切の直前では必ず止まること、左右の確認と待つ態度などについて考え、話し合う</li> </ul> <p> <input type="checkbox"/> 準 絵・写真・パネルなど  <input type="checkbox"/> 留 踏切以外での横断は、厳禁であることを徹底させるように指導する  <input type="checkbox"/> 関 生活科の校区探検や遠足・社会見学など校外学習と関連させて指導してもよい </p>
B-14 道を横切るとき	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ とび出しや斜め横断の危険を理解し、安全な横断の仕方を身に付けることができる</li> <li>○ 道路を渡るときは、どんなことに注意したらよいかを考え、話し合う</li> <li>・ とび出し・斜め横断の危険や一時停止による安全の確認について考え、話し合う</li> <li>・ 個人や集団で横断する場合の渡り方や横断の意思表示の仕方について考え、話し合う</li> </ul> <p> <input type="checkbox"/> 留 事故原因の多くは、とび出しであることを指導する  <input type="checkbox"/> 留 特に信号機のない場所での渡り方を指導する  <input type="checkbox"/> 関 生活科の校区探検や遠足・社会見学など校外学習と関連させて指導してもよい </p>
B-15 信号の見方	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 信号の色の意味と区別を理解し、信号を守って安全に行動することができる</li> <li>○ 信号機はどんな場所にあって、どんな働きをするのかを考え、話し合う</li> <li>・ 赤・黄・青の色の区別について話し合う</li> <li>・ 赤や黄で止まり、青を確かめて進むが、そのときも左右を確認すること、左折・右折の自動車に注意することの大切さについて話し合う</li> </ul> <p> <input type="checkbox"/> 留 色の見え方が他人と異なる児童に配慮する  <input type="checkbox"/> 留 歩行者用信号の見方についても、合わせて指導する  <input type="checkbox"/> 関 生活科の校区探検や遠足、社会見学など校外学習と関連させて指導してもよい </p>
B-16 安全のきまり	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ きまりを守って行動することの大切さに気付くことができる</li> <li>○ これまでに学習した安全のきまりを話し合い、自分の行動を反省する</li> <li>・ 毎日の登下校や遊びのときなどについて話し合い、悪いところがあれば直すようにする</li> <li>・ 警察官や交通指導員などの人々が、わたしたちの安全のために活動していることを考え、きまりを守って行動することの大切さを話し合う</li> </ul> <p> <input type="checkbox"/> 留 交通安全の意味について指導する  <input type="checkbox"/> 留 発展として、交通安全の作文やポスターをかくようにしてもよい </p>
B-17 雨の日の歩行	全 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 雨天時や夕方など天気の良い日の服装について理解し、安全な歩行に心がけることができる</li> <li>○ 雨天時や夕方など、天気の良い日の身支度や履物について話し合う</li> <li>・ 雨天時や夕方などは、運転手から歩行者が見えにくくなることを理解する</li> <li>・ 左右を確認しやすい服装、運転手の目につきやすい服装について考え、話し合う</li> <li>○ 雨天時や夕方など、天気の良い日の歩行について話し合う</li> <li>・ 傘の持ち方、帽子が飛ばない工夫、荷物の持ち方、前の人との間隔などについて考え、話し合う</li> </ul> <p> <input type="checkbox"/> 留 実際に雨具をつけて練習してもよい </p>

#### 1 使用上の留意点

- 主題は、標準授業時数より多く例示してある領域もある。学校・学級の実情に応じて主題を選択したり、学校・学級独自に主題を加えたりして指導する。
- 主題については、1単位時間で指導することを原則とするが、学校や学級の実情に応じて弾力的に取り扱うこととする。また、朝の会や帰りの会の場面などを活用する指導も考えられる。
- 生徒指導にかかわる指導内容については、日常の教育活動の中で随時指導するように配慮する。